

2016年度第1四半期決算の概要 及び 2016年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2016年8月2日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2016年度第1四半期決算の概要

1)2016年度第1四半期 事業概況およびトピックス	… 1
2)決算の概要	… 2、3
3)セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)	… 4
4)営業外損益及び特別損益の内訳	… 5
5)貸借対照表	… 6
6)キャッシュ・フロー計算書	… 7

2. 2016年度業績予想の概要

1)2016年度第2四半期以降のトピックス	… 8
2)業績予想の概要	… 9
3)営業利益推移 (15年度決算→16年度前回予想→16年度今回予想)	… 10
4)セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)	… 11
5)セグメント別 営業利益の予想 (対前回予想)	… 12
6)営業外損益及び特別損益の内訳	… 13
7)キャッシュ・フロー計算書	… 14

3. 補助資料

… 15~22

1. 2016年度第1四半期決算の概要

1) 2016年度第1四半期 事業概況およびトピックス

<事業概況>

- ◆**モビリティ**： エラストマー、機能性コンパウンド及びポリプロピレン・コンパウンドは、主に海外を中心に自動車部品関連材料の需要好調が継続、また機能性ポリマーも、ICT関連用途の需要拡大に的確に対応。
- ◆**ヘルスケア**： ビジョンケア材料及び不織布の販売は堅調に推移、また歯科材料も、欧米を中心に販売は堅調。
- ◆**フード&パッケージング**： コーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売は堅調、また農薬は、前年同期比では減販となるものの、国内外ともに安定した需要が継続。
- ◆**基盤素材**： 内需堅調、ナフサクラッカーを始めとする設備稼働が高水準で推移。大型市況製品の構造改革も、計画どおり進捗。

<第1四半期のトピックス>

- ・三井化学韓国支社を現地法人化（16年4月）
- ・名古屋工場における高機能不織布設備の増設工事着工（16年4月）
（1.5万トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・システムハウス メキシコ拠点稼働開始（16年4月）
- ・大牟田工場 MDIプラント停止（16年5月、6万トン/年）
- ・三井化学アグロ、インドPI Industries Limitedとの登録合併会社設立に合意（16年5月）

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-6月決算	16年度 4-6月決算	増減	増減率
売上高	3,791	2,937	△ 854	△23%
営業利益	227	255	28	12%
営業外損益	5	△ 22	△ 27	—
経常利益	233	233	0	0%
特別損益	△ 5	△ 9	△ 4	—
税金等調整前 四半期純利益	227	224	△ 3	△2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	168	162	△ 6	△4%
為替レート(円/US\$)	121	108	△ 13	
国産ナフサ(円/KL)	48,800	31,600	△ 17,200	

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	15年度決算	16年度 4-6月決算	増減	増減率
有利子負債	4,730	4,664	△ 66	△1%
Net 有利子負債	3,934	3,903	△ 31	△1%
自己資本	3,819	3,766	△ 53	△1%
Net D / E レシオ (倍)	1.03	1.04	0.01	—
自己資本比率 (%)	30.3	30.8	0.5	—

(単位：社)

摘 要	15年度決算	16年度 4-6月決算	増減
連結対象会社数			
連結子会社	95	95	0
持分法子会社	8	8	0
持分法関連会社	28	27	△ 1
連結対象会社計	131	130	△ 1

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	15年度 4-6月決算	16年度 4-6月決算	増減	15年度 4-6月決算	16年度 4-6月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	862	747	△ 115	128	120	△ 8	14	△ 16	△ 6
ヘルスケア	492	351	△ 141	22	32	10	1	0	9
フード & パッケージング	503	444	△ 59	65	57	△ 8	△ 3	0	△ 5
基盤素材	1,842	1,307	△ 535	29	70	41	△ 12	21	32
その他	92	88	△ 4	△ 17	△ 24	△ 7	-	-	△ 7
合計	3,791	2,937	△ 854	227	255	28	0	5	23

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-6月決算	16年度 4-6月決算	増減
持分法投資損益	13	3	△ 10
金融収支	△ 10	△ 4	6
為替差損益	6	△ 23	△ 29
その他	△ 4	2	6
営業外損益 合計	5	△ 22	△ 27

特別損益

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-6月決算	16年度 4-6月決算	増減
資産売却益	3	2	△ 1
特別利益計 (A)	3	2	△ 1
固定資産処分・売却損	7	8	1
減損損失	—	3	3
関連事業損失	1	—	△ 1
特別損失計 (B)	8	11	3
特別損益 合計 (A-B)	△ 5	△ 9	△ 4

5) 貸借対照表

(単位：億円)

摘要	16年3月	16年6月	増減	摘要	16年3月	16年6月	増減
流動資産	(6,282)	(6,071)	(△ 211)	負債	(8,157)	(7,855)	(△ 302)
現預金	796	761	△ 35	買掛債務	1,183	1,149	△ 34
売掛債権	2,453	2,323	△ 130	有利子負債	4,730	4,664	△ 66
たな卸資産	2,407	2,338	△ 69	その他	2,244	2,042	△ 202
その他	626	649	23	純資産	(4,432)	(4,355)	(△ 77)
固定資産	(6,307)	(6,139)	(△ 168)	株主資本	3,824	3,946	122
有形・無形 固定資産	4,536	4,408	△ 128	その他の包括利益 累計額	△ 5	△ 180	△ 175
[うち無形]	[402]	[360]	[△ 42]	非支配株主持分	613	589	△ 24
投資等	1,771	1,731	△ 40	合計	12,589	12,210	△ 379
合計	12,589	12,210	△ 379				

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-6月決算	16年度 4-6月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	355	209	△ 146
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 121	△ 112	9
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	234	97	△ 137
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 188	△ 97	91
IV. その他	0	△ 28	△ 28
現預金等増減	46	△ 28	△ 74

2. 2016年度業績予想の概要

1) 2016年度第2四半期以降のトピックス

<トピックス>

- ・ポリプロピレン・コンパウンド能力増強工事着工（16年度第2四半期）
（アメリカ・メキシコ・インドの3拠点で5万トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・柔軟性と伸縮機能に優れた高機能不織布設備の増設工事着工（16年度第2四半期）
（6千トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・「ミラストマー®」の国内能力増強工事着工（16年度第4四半期）
（5千トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・新規特殊イソシアネート2製品の量産化（16年度、2千トン/年）
- ・シンガポールにおける「エボリュール®」プラント営業運転開始（16年度、30万トン/年）

2) 業績予想の概要

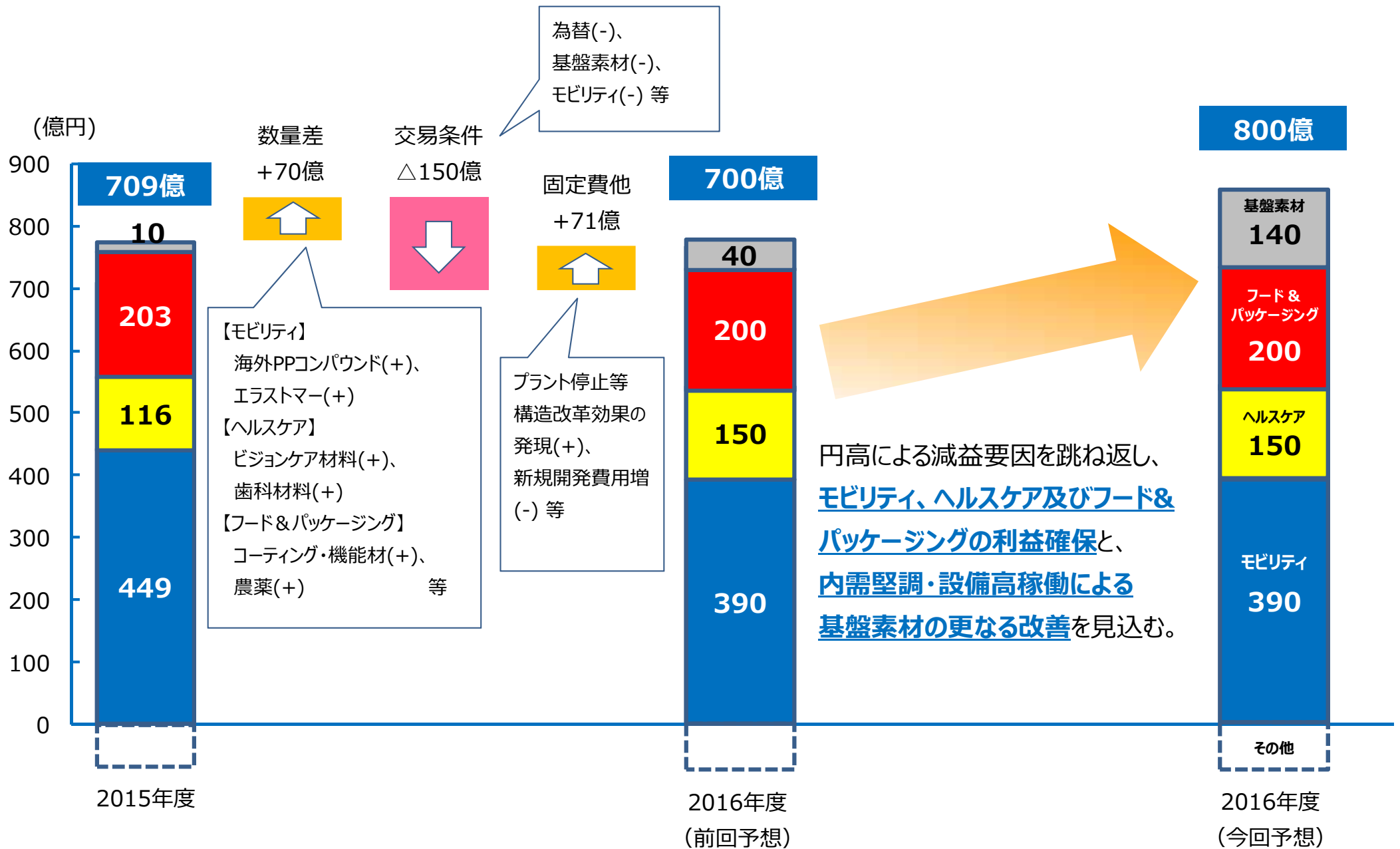
(単位：億円)

摘要	15年度決算 (a)		16年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		16年度前回予想 (16.5.13発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%	4-9月	年度
売上高	7,086	13,439	5,830	12,150	△ 1,289	△ 10%	6,000	12,500
営業利益	414	709	440	800	91	13%	270	700
営業外損益	△ 2	△ 77	△ 40	△ 90	△ 13	—	△ 40	△ 80
経常利益	412	632	400	710	78	12%	230	620
特別損益	△ 1	△ 219	△ 30	△ 60	159	—	△ 30	△ 60
税金等調整前 当期純利益	411	413	370	650	237	57%	200	560
親会社株主に帰属する 当期純利益	285	230	250	440	210	92%	100	360

為替レート(円/US\$)	122	120	107	103	△ 17		110	110
国産ナフサ(円/KL)	48,000	42,800	32,300	32,700	△ 10,100		33,000	33,000

配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	4 円/株	4 円/株	4 円/株	5 円/株	±0 円/株	+ 1 円/株	4 円/株	5 円/株
通期	8 円/株	通期	9 円/株	通期	+ 1 円/株	通期	9 円/株	

3) 営業利益推移 (15年度決算→16年度前回予想→16年度今回予想)



4) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	15年度決算		16年度予想		増減 (b) - (a)	15年度決算		16年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,645	3,182	1,490	3,050	△ 132	240	449	210	390	△ 59
ヘルスケア	874	1,611	710	1,500	△ 111	51	116	60	150	34
フード & パッケージング	966	1,952	880	1,920	△ 32	109	203	100	200	△ 3
基盤素材	3,413	6,308	2,570	5,290	△ 1,018	43	10	110	140	130
その他	188	386	180	390	4	△ 29	△ 69	△ 40	△ 80	△ 11
合計	7,086	13,439	5,830	12,150	△ 1,289	414	709	440	800	91

5) セグメント別 営業利益の予想 (対前回予想)

16年度 上期

(単位：億円)

セグメント	営業利益			増減要因
	前回予想 (16.5.13)	今回予想	増減	
モビリティ	190	210	20	販売堅調、在庫(+)、為替(-)等
ヘルスケア	60	60	0	販売堅調
フード&パッケージング	90	100	10	増販(+)、為替(-)等
基盤素材	△30	110	140	稼働改善(+)、交易(+)、為替(-)等
その他	△40	△40	0	
合計	270	440	170	

16年度 下期

(単位：億円)

セグメント	営業利益			増減要因
	前回予想 (16.5.13)	今回予想	増減	
モビリティ	200	180	△20	為替(-)等
ヘルスケア	90	90	0	
フード&パッケージング	110	100	△10	為替(-)等
基盤素材	70	30	△40	為替(-)等
その他	△40	△40	0	
合計	430	360	△70	

6) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	15年度決算		16年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
持分法投資損益	37	△ 22	0	△ 10	12
金融収支	△ 25	△ 26	△ 10	△ 30	△ 4
為替差損益	△ 4	△ 19	△ 23	△ 23	△ 4
その他	△ 10	△ 10	△ 7	△ 27	△ 17
営業外損益 合計	△ 2	△ 77	△ 40	△ 90	△ 13

特別損益

(単位：億円)

摘 要	15年度決算		16年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
資産売却益	12	51	2	2	△ 49
事業譲渡益	37	37	-	-	△ 37
特別利益計 (A)	49	88	2	2	△ 86
固定資産処分・売却損	21	56	29	59	3
減損損失	27	241	3	3	△ 238
関連事業損失	2	10	-	-	△ 10
特別損失計 (B)	50	307	32	62	△ 245
特別損益 合計 (A-B)	△ 1	△ 219	△ 30	△ 60	159

7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	15年度決算		16年度予想		増減 (b)-(a)	16年度 前回予想 (16.5.13発表)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	867	1,459	550	1,070	△ 389	380	980
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 127	△ 364	△ 310	△ 680	△ 316	△ 310	△ 680
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	740	1,095	240	390	△ 705	70	300
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 585	△ 790	△ 350	△ 460	330	△ 180	△ 370
IV. その他	△ 7	△ 29	—	—	29	—	—
現預金等増減	148	276	△ 110	△ 70	△ 346	△ 110	△ 70

3. 補助資料

- 1) 主要製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) 財務データ
- 4) 地域別売上高比率

1) 主要製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

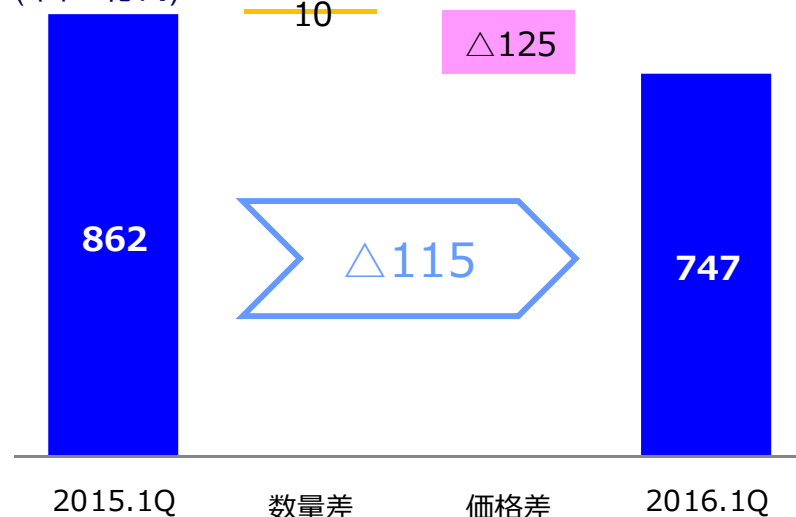
年		2013年		2014年				2015年				2016年	
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
国産基準 ナリ価格	(円/KL)	63,900	67,800	72,000	69,900	70,900	66,000	47,000	48,800	47,200	40,900	34,300	31,600
P E国内	(円/KG)	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→	→	△30円 程度	→	→	△10円 程度	△10円 程度	→
P P国内	(円/KG)	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→	→	△30円 程度	→	→	△10円 程度	△10円 程度	→
P H国内 (フォーマル価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (*ACP)	(\$/T)	\$1,250	\$1,290	\$1,330	\$1,270	\$1,380	\$1,060	\$650	\$790	\$720	\$610	\$560	\$640
B P A国内	(円/KG)	→	→	+21円 (3月~)	→	→	→	→	→	→	△30円 (10月~)	→	→
B Z・B P A市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,660	\$1,630	\$1,660	\$1,670	\$1,910	\$1,620	\$1,430	\$1,390	\$1,060	\$910	\$940	\$1,140
P T A 中国市況	(\$/T)	\$1,080	\$1,020	\$940	\$910	\$980	\$760	\$620	\$720	\$630	\$600	\$570	\$610
P X (*ACP)	(\$/T)	\$1,450	\$1,440	\$1,300	\$1,260	\$1,350	\$1,040	\$780	\$930	\$820	\$790	\$720	\$800
T D I 中国市況	(\$/T)	\$2,375	\$2,340	\$2,330	\$2,320	\$2,340	\$2,280	\$1,940	\$1,740	\$1,570	\$1,510	\$1,510	\$2,080

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



747億円 (前年同期比 Δ 115億円)

数量差 +10億円

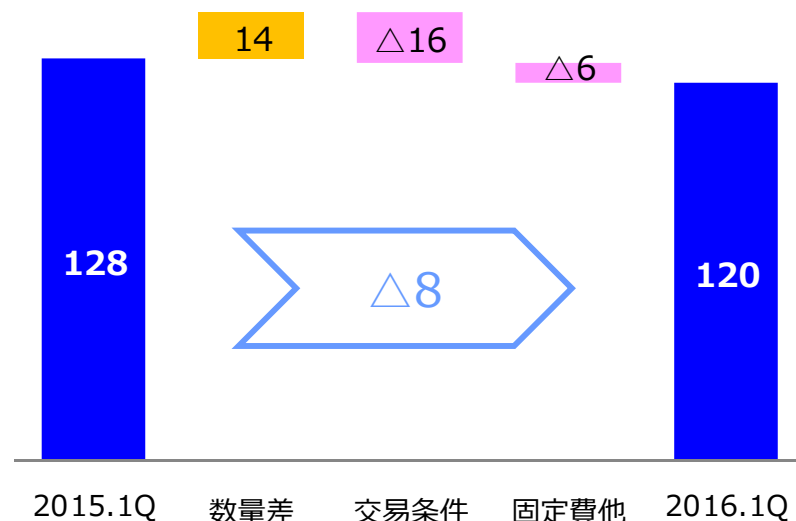
- ・自動車用途を中心とした堅調なグローバル需要に的確に対応。
- ・ICT関連用途の需要拡大に伴う拡販。

価格差 Δ 125億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



120億円 (前年同期比 Δ 8億円)

数量差 +14億円

- ・自動車用途を中心とした堅調なグローバル需要に的確に対応。
- ・ICT関連用途の需要拡大に伴う拡販。

交易条件 Δ 16億円

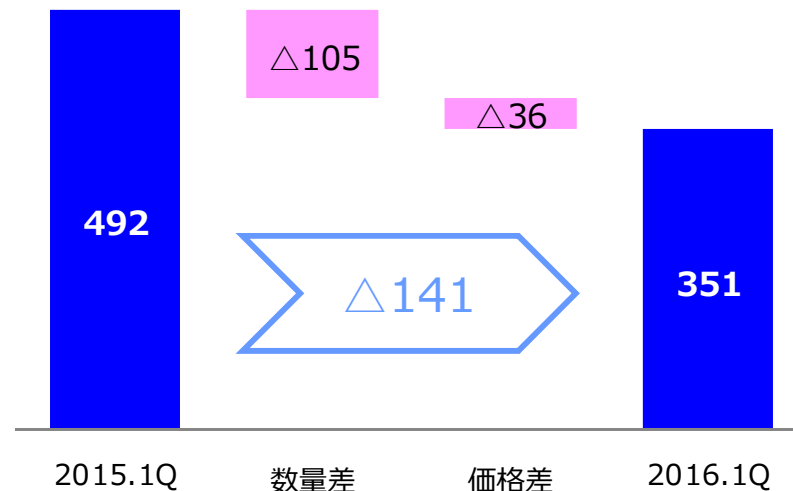
- ・為替差等の交易条件悪化。

固定費他 Δ 6億円

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



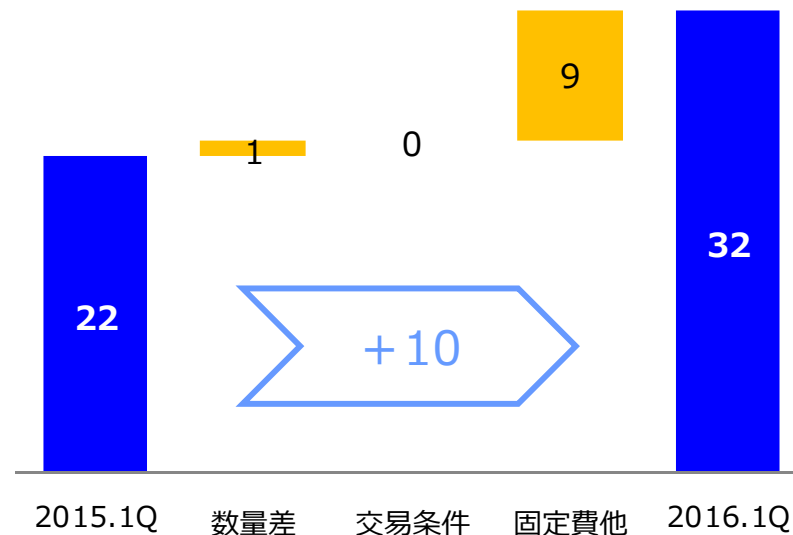
351億円 (前年同期比 △141億円)

数量差 △105億円 (内、15年度決算期変更影響: △114)
 ・ビジョンケア材料、不織布及び歯科材料の販売堅調。

価格差 △36億円
 ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
 ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



32億円 (前年同期比 +10億円)

数量差 +1億円
 ・ビジョンケア材料、不織布及び歯科材料の販売堅調。

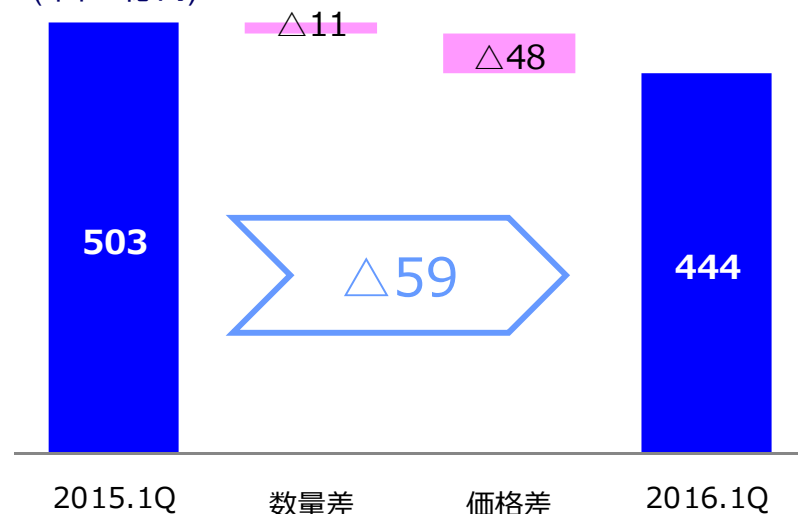
交易条件 ±0億円

固定費他 +9億円
 ・歯科材料事業ののれん償却費減少等。

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



444億円 (前年同期比 △59億円)

数量差 △11億円

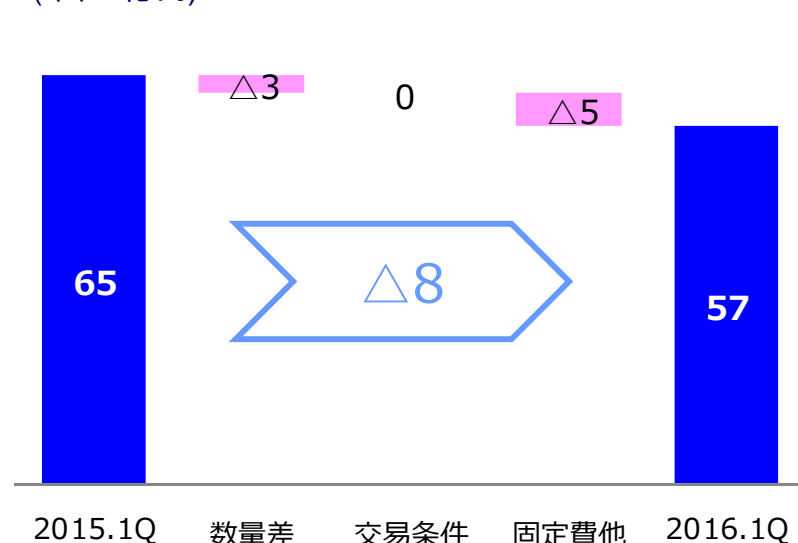
- ・コーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売堅調。
- ・農薬の減販。

価格差 △48億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



57億円 (前年同期比 △8億円)

数量差 △3億円

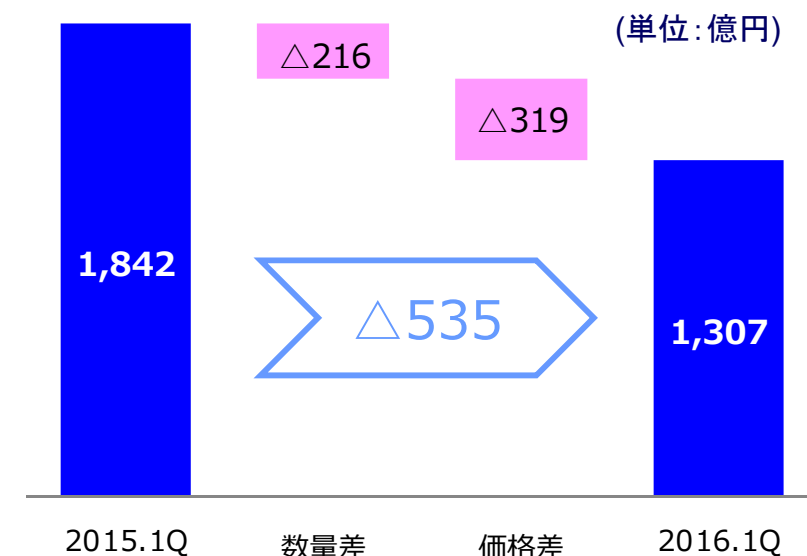
- ・コーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売堅調。
- ・農薬の減販。

交易条件 ±0億円

固定費他 △5億円

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)



1,307億円 (前年同期比 △535億円)

数量差 △216億円

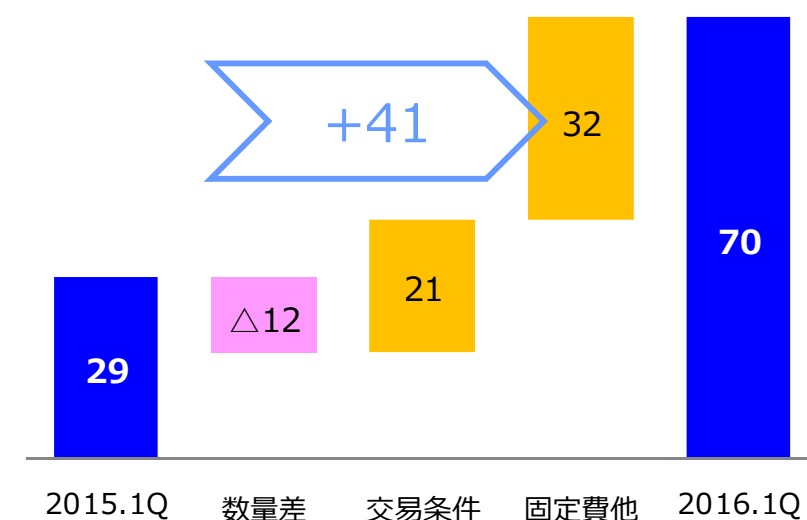
- ・ポリウレタン材料の分社化影響。
- ・事業構造改革による生産規模縮小等。

価格差 △319億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第1四半期 対 2015年度第1四半期)

(単位: 億円)



70億円 (前年同期比 +41億円)

数量差 △12億円

- ・ポリウレタン材料の分社化影響。
- ・事業構造改革による生産規模縮小等。

交易条件 +21億円

- ・設備稼働改善、市況等。

固定費他 +32億円

- ・事業構造改革によるポリウレタン材料のプラント停止効果等。

3) 財務データ

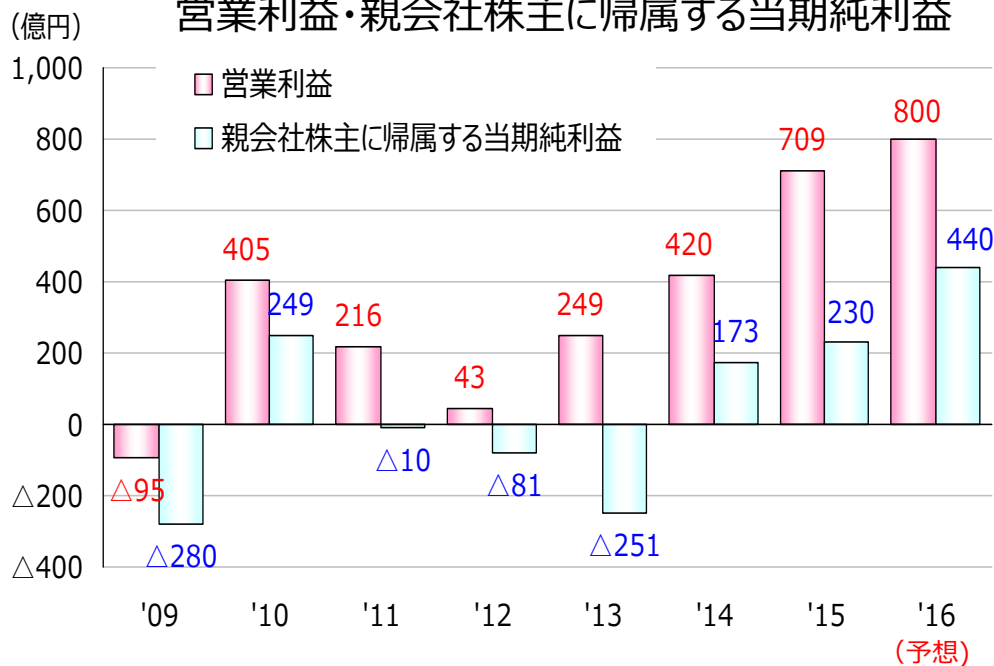
売上高



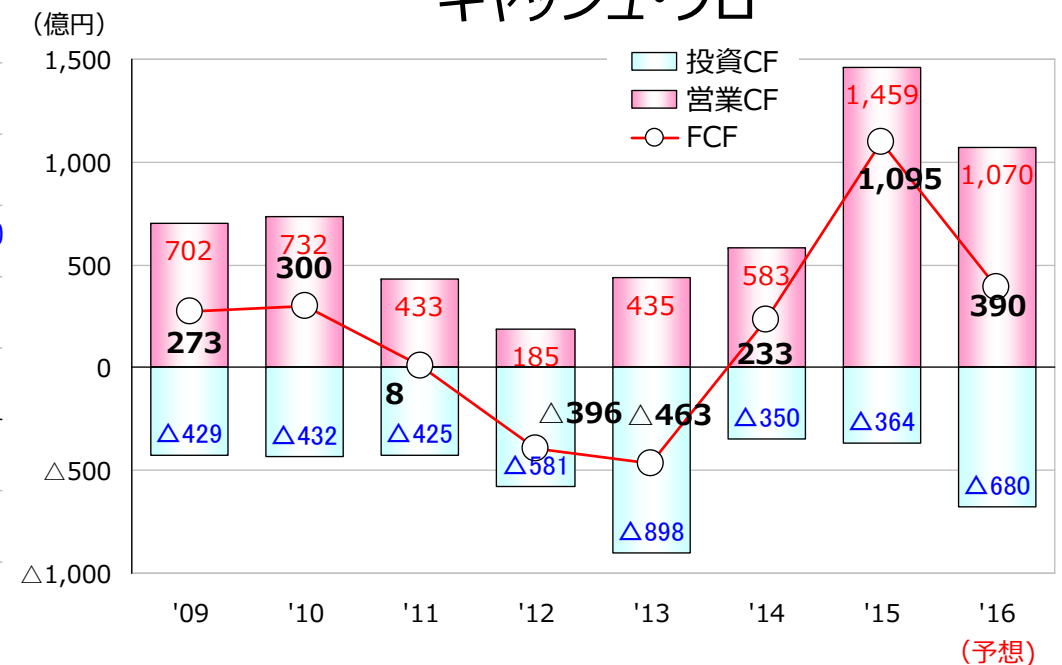
総資産



営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益

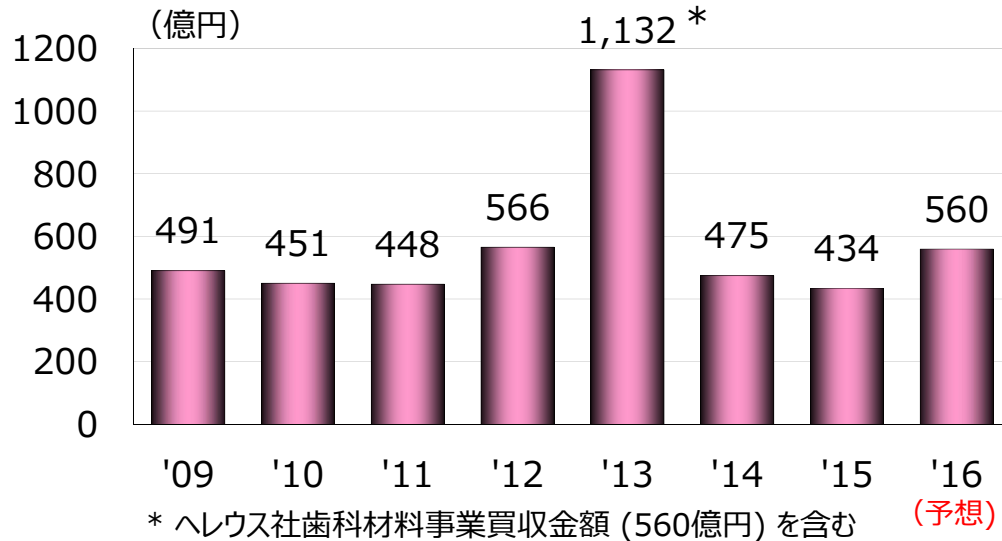


キャッシュ・フロー

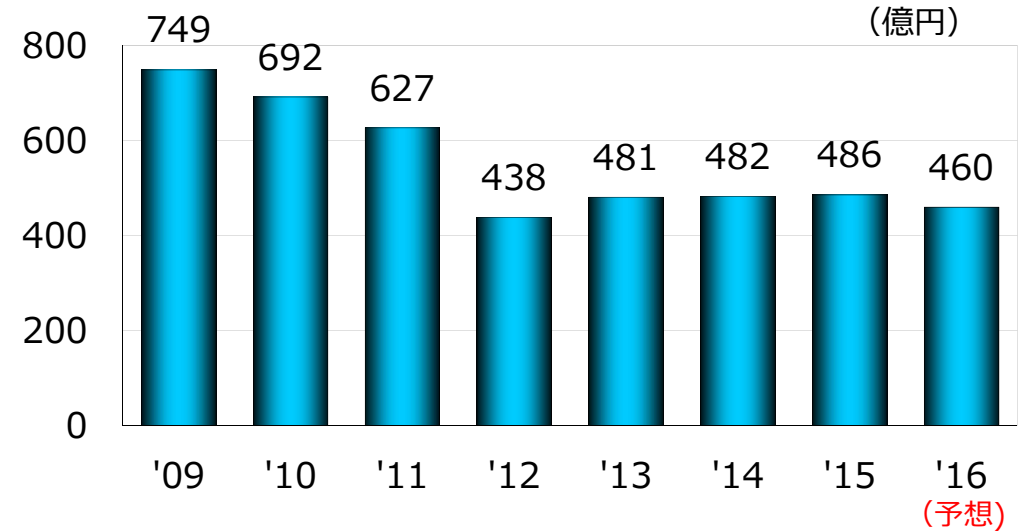


3) 財務データ

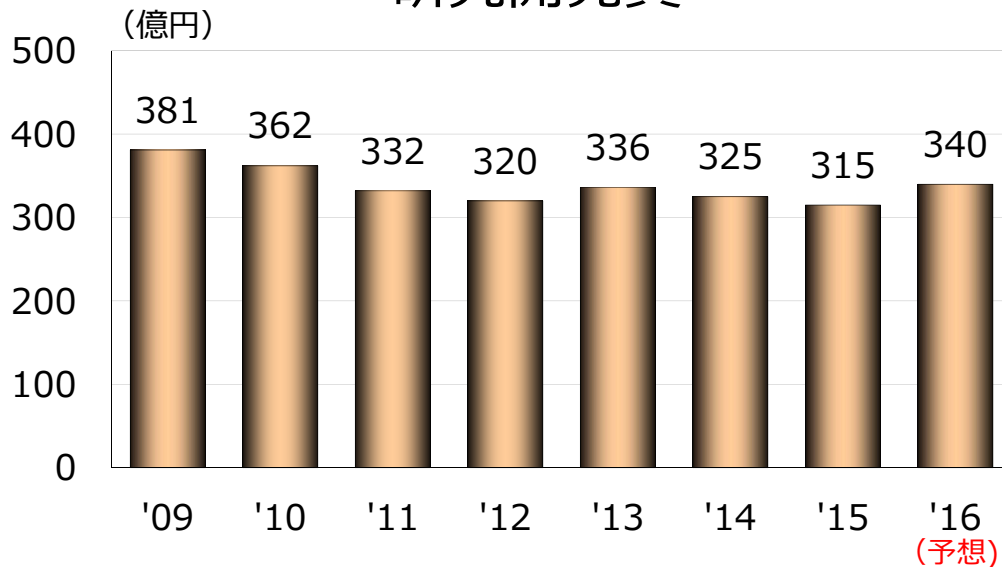
設備投資額



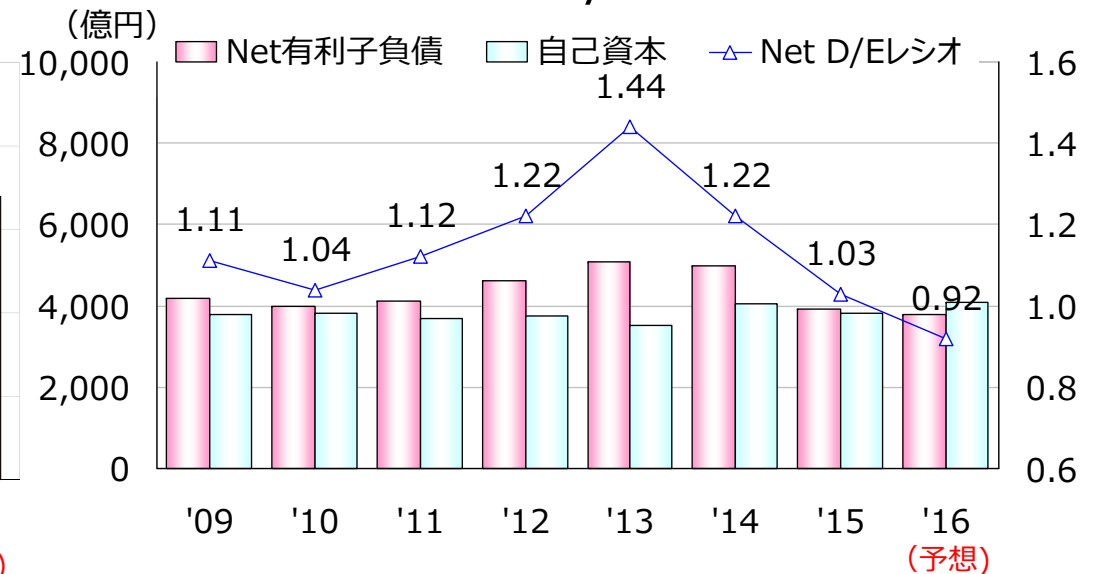
減価償却費



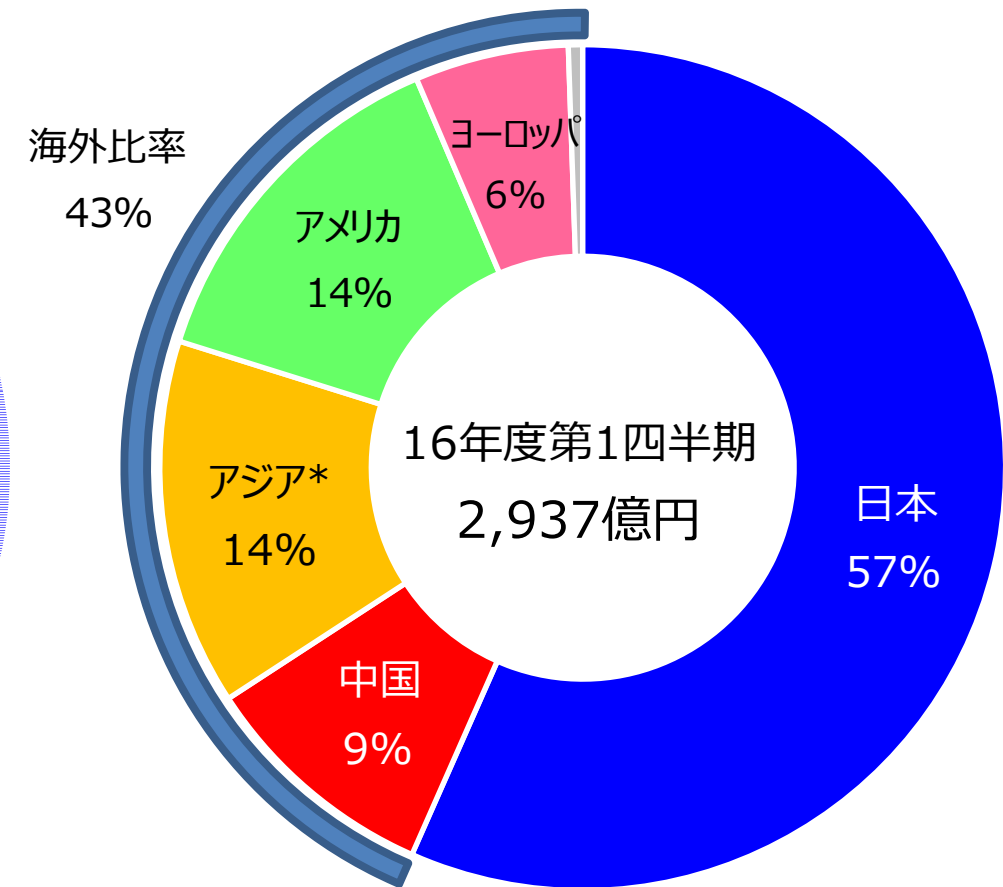
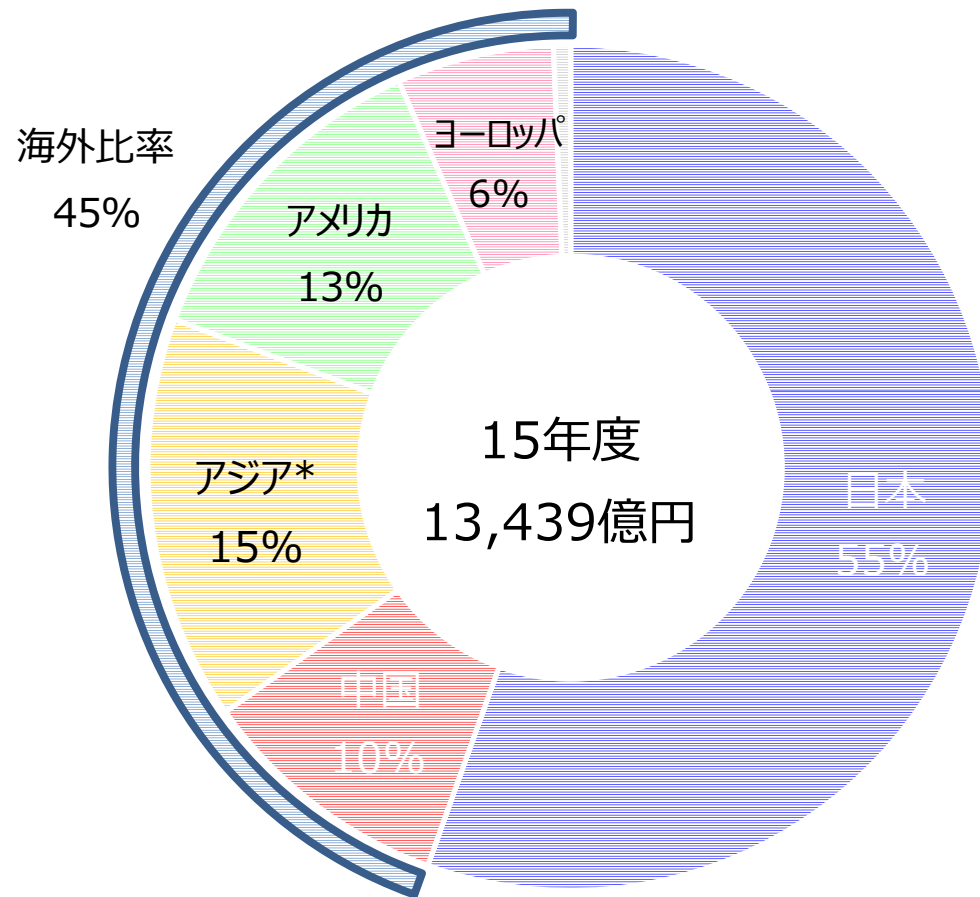
研究開発費



Net D/Eレシオ



4) 地域別売上高比率



* アジア：日本及び中国を除く



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する